

製品名: ATG4D マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86060**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	52.9kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG4D
別名	Cysteine protease ATG4D, 3422-, AUT-like 4 cysteine endopeptidase, Autophagin-4, Autophagy-related cysteine endopeptidase 4, Autophagy-related protein 4 homolog D, Cysteine protease ATG4D, mitochondrial, ATG4D, APG4D, AUTL4
遺伝子 ID	84971.0
SwissProt ID	Q86TL0
免疫原	この ATG4D モノクローナル抗体は、ATG4D 組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

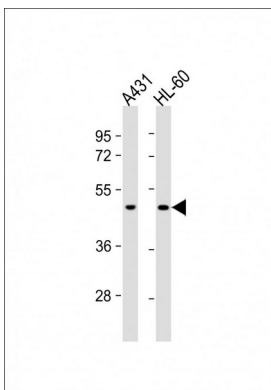
背景

オートファジーは、内因性タンパク質や損傷した細胞小器官を細胞内で破壊するプロセスです。オートファジーは、分化、変態、非アポトーシス性細胞死、そして老化における細胞の恒常性維持と細胞リモデリングに不可欠であると仮定されています。一部の悪性腫瘍ではオートファジーレベルの低下が報告されており、がんに関連する制御不能な細胞増殖の制御におけるオートファジーの役割が示唆されています。この遺伝子は、オートファジタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。また、コードされているタンパク質は、システインプロテアーゼのC-54ファミリーのメンバーとしても知られています。

研究分野

オートファジー、アポトーシス

画像データ



全レーン：抗ATG4D抗体 (1:1000希釈)